

安全とあなたの 未来を支えます

Safety and your Future with NITE

nite

National Institute of Technology and Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

- 国際評価技術分野
- 製品安全分野
- 化学物質管理分野
- バイオテクノロジー分野
- 適合性認定分野



日本の未来のために NITE で一緒に働いてみませんか？



製品評価技術基盤機構 (NITE: ナイト、経済産業省所管の行政執行法人) では、役職員が国家公務員として、わが国の国際競争力の強化や国民生活の安全確保に貢献しています。

社会には、さまざまなリスクが潜み、それが顕在化して私たちに影響を及ぼしています。NITEは、社会に存在する安全や信頼性に関わるリスクを総合的に削減することを、その役割として期待されています。

NITEは、多数の専門分野を有する公的な技術者集団です。NITE職員の一人一人が高度な技術を有しており、信頼できる確かな技術情報を収集、分析する能力に強みを持っています。

●おもな専門分野

電気・電子・情報、機械、物理、化学、農学、建築、資源工学、医学・薬学、行政

NITEの歩み

- 1928年(昭和3年) 輸出絹織物検査所 設立
- 1948年(昭和23年) 繊維製品検査所、試薬品検査所、機械器具検査所、日用品検査所 設立
- 1984年(昭和59年) 通商産業検査所 設立
- 2001年(平成13年) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 設立

NITEは、自分を活かせる職場、未知の分野にもチャレンジできる職場です。きっと「やりがい」を実感できると思います。2030年の世界(自分)を覗き見て、一緒にチャレンジしてみませんか。

『NITE長期ビジョン2030』

～経済産業通商政策上のリスクへの対応～

製品の安全、信頼、並びに環境・エネルギーについて、技術上の価値に関する情報を創出し、伝統産業・文化の観点を含めた評価基準を開発するとともに、国際展開を進め、豊かで誇りの持てる社会の形成に貢献する。

<https://www.nite.go.jp/nite/aboutus/visionfor2030/index.html>

安全とあなたの未来を支えます

NITEの基本理念

確かな技術と信頼できる情報をもとに
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けます



(平成31年4月1日現在)

contents

日本の未来のために NITEと一緒に働いてみませんか?	1
仕事と家庭、キャリアパス	3
職員の日(One day of a staff)	5
業務紹介	
NITEの5分野	7
世界へ／国際的連携	12
企画管理／内部連携	13
戦略的な広報・情報提供	14
職員からのメッセージ	15
Q&A	21

バイオテクノロジーセンター 産業連携推進課
課長

平成19年入構 農学

川崎 浩子

Kawasaki Hiroko

平成元年 東京大学 文部技官 採用
平成4年 東京大学 文部教官 助手
平成9年 大阪大学 転任
平成19年 製品評価技術基盤機構 入構(転籍)
バイオテクノロジー本部 遺伝資源保存課 配属
平成24年 バイオテクノロジーセンター 生物資源課
平成25年 バイオテクノロジーセンター 国際連携室室長
平成26年 バイオテクノロジーセンター 調査官(企画担当)
平成27年 現職



バイオ産業に資する生物遺伝資源機関の日本代表としての役割を任って

動機

前職は、大学からの専門性を活かし、教育の現場に勤務しておりました。子供が1歳になった頃、夫が関東に異動になり、約5年強の単身赴任生活がスタート。子育てと研究を両立する中で、自分の専門性を活かして、直接社会に貢献できる仕事がしたいという思いが強くなり、子供の就学時期に思い切って関東への転職を考え、技術を活かした行政事業を行うNITEに就職をしました。NITEに勤務してからは、バイオ分野の、その時々ホットな課題に対応する部署に配属され、奮戦力投しつつ専門性のスキルも向上させながら毎日を送っています。



仕事



バイオテクノロジーセンターのミッションは、生物資源の活用により産業発展に貢献することです。産業連携推進課では、産業界の生の声を聞いたり、海外動向を調査して、日本のバイオ産業の方向性を予測し、業務活動を設定しています。これまでNITEが培った組織力と個人々の専門性をフルに活かしたマネジメントを心がけ、具体的には、外部企業との共同事業や、国家プロジェクト・国際プロジェクトへの参画をマネジメントし、産業貢献を目指して仕事をしています。最近では、産業界やバイオ研究者からの期待をひしひしと感じており、責任と同時にやりがいも大きく、仕事の励みになっています。NITEのバイオテクノロジーセンターは国際連携にも力を入れており、日本を代表する声として海外に発信する機会も多く、グローバル社会の中でNITEは一躍を担っていると自負しています。

休日

私は夫と大学生の息子との3人暮らしです。息子が小学生の頃は、職場近くの自然いっぱい千葉県木更津市で過ごし、職場と自宅が車で15分という生活でした。休日は夫とガーデニングを楽しんだり、友人家族とのアウトドアやホームパーティなど、木更津ならではの生活を満喫しました。都内中学への進学を機に、木更津とNITE本所のある渋谷区西原の両方の職場に便利な都内に生活の場を移し、休日は、趣味である美術館巡り、盆栽教室とホットヨガ・ピラティス教室通いと、充実した日々を送っています。「仕事と子育てを上手に両立されていますね。」と言われることが多いのですが、NITEという職場環境が、両方を後押ししてくれているように思います。



化学物質管理センター 情報業務課
主査

平成15年入構 化学

中島 薫

Nakajima Kaoru

平成15年 化学物質管理センター計画課 配属
平成17年 化学物質管理センターリスク管理課
平成21年 化学物質管理センター安全審査課
(米国環境保護庁 派遣 平成23年8月～平成24年7月)
平成25年 経済産業省 出向
平成27年 化学物質管理センター安全審査課
平成28年 育児休業取得
平成29年 職場復帰、現職

子育てしながら長く働きたい、色々なことを勉強したいなら、NITEはお薦めの職場です！

動機

NITEのことは、官庁合同業務説明会で初めて知りました。技術系の仕事を通じて直接社会に貢献できる点に魅力を感じ、当時は博士課程への進学も視野に入れていましたが、それよりも「社会に出て働いてみたい」という思いが強くなり、NITEへの就職を希望しました。

就職当時はそれほど意識していませんでしたが、出産を経験し、子育てしながらでも働きやすい職場だと強く感じています。育児休業(最長で子どもが3歳になるまで)、育児時間(短時間勤務)、子の看護休暇など、出産・育児に関する制度が充実しているだけでなく、これらの制度の活用実績も多く、とても使いやすいです。また、周囲に出産や子育てを経験された先輩ママが多いことも非常に心強いです。

仕事



入構以来、化学物質管理センターに所属し、化審法をはじめとする法施行支援業務に長く従事した後、現在はGHS*という国際的な基準に従って分類された化学物質の危険有害性情報をHPから公表し、英訳する業務を行っています。常に仕事の向こうには国内外の化学物質を取り扱う事業者がいらっしゃり、やりがいを感じます。また、これまでに米国環境保護庁への派遣と経済産業省への出向を経験しました。米国では米国の化学物質規制法について勉強しました。語学面の苦労もありましたが、他では得がたい貴重な経験でした。経済産業省では化審法新規化学物質の安全性の審査に携わりましたが、NITEと異なり、法を所管し施行する立場であるため、法律や制度を俯瞰的に考える力、制度運用の当事者という責任感、自律して仕事を進める姿勢などが培われました。自分を成長させる機会があるのも、NITEの魅力だと思います。

* GHS:The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

休日

趣味でヴァイオリンを弾いており、働き始めてからも、週末はアマチュアオーケストラ、室内楽合奏など、音楽活動を楽しんできました。息子が生まれてからは、以前ほど盛んにはできませんが、同じ趣味を持つ夫と土日の時間をやりくりし、お互いに音楽の時間を持つようになっています。NITEには楽器をやる方が多く、以前、同僚の結婚式や二次会で一緒に演奏したこともありました。

オンもオフも充実した生活を送りたい方、子育てしながら長く働きたい方、そして、色々なことに柔軟に興味を持って勉強したい方に、NITEはお薦めの職場です！一緒に働きましょう。





職員の日

Shinoaki Hatsumi 東明 初実

職務内容

私が所属している製品安全技術課では、身の回りの製品による事故の原因を調査し、結果を公表しています。事故調査には、電気、機械、化学に関する案件があり、それらの調査を日々行っています。電気に関する案件であれば、製品に内蔵される基板や配線のX線解析等、化学に関する案件であれば、ガラスの破面解析、折れたプラスチックの組成分析など幅広い分野の調査を実施しています。

調査の結果が公表されると、より安全な製品の開発に役立てられるため、国民の安全な暮らしに貢献できることに大変やりがいを感じています。

また、私が勤務している大阪本部をはじめ、NITEには数多くの高度な分析機器が整備されており、現在の部署では調査を実施する上で多岐にわたる分析技術が必要とされます。今後は幅広い分野における分析技術を習得し、常に信頼性の高いデータを提供できるよう心がけていきたいと考えています。

08:45

出勤。PCを起動させ、仕事を始める準備をします。少し早めにメールのチェックとスケジュールを確認します。

09:00

始業開始。本日使用する分析機器の状態を確認し、測定の前準備をしておきます。

09:30

事業者や消防から提出された事故報告書内容について電話で聞き取りを行います。



10:30

不具合のあった電気製品の基板に含まれる元素分析をします。



12:00

お昼になりました。女子更衣室にて、先輩方と楽しくおしゃべりしながらお昼ご飯を食べています。



13:00

皮膚障害の原因となった衣類の分析を行うため、衣類から抽出した原因物質を濃縮しています。



15:00

乳幼児の事故の再現実験のためダミー人形を準備しています。



16:00

グループ内で現在実施している試験内容の検討を行い、今後の分析計画を立てます。



17:00

分析結果を確認し、明日解析を実施します。試験器具などを洗い、後片付けをします。

17:45

今日は仕事を終えて帰宅します。一日お疲れ様でした。

認定センター 製品認定課
平成25年入構 行政



職員の日

Sasaki Yuta 佐々木 優太

職務 内容

私たちの暮らしと産業は、多種多様な工業製品に支えられています。そしてそれらの工業製品は、製品試験を経て市場に供給されることにより、その品質が保証されています。製品認定課では、主に、製品試験を実施する試験事業者が、特定の試験を実施する能力を有するとともに、該当する国際規格に適合した運営をしているかを審査し認定しており、製品試験の結果の信頼性を確保することにより、暮らしと産業の手助けを行っています。

日常の業務は、試験事業者からの認定申請等に係る対応を中心としたデスクワークですが、認定審査員として、首都圏外の試験事業者の審査を担当するなど、出張する機会が頻繁にあります。

試験の対象となる工業製品は多岐にわたるため、業務を通じて幅広い産業分野の情報に触れることができ、大変恵まれた環境であると感じています。

07:30

おはようございます。駅まで歩いて行き電車に乗り、職場に向かいます。

08:50

始業は9:00からです。本日の業務の内容を確認しておきます。



09:00

10:30に認定申請を検討している試験事業者が相談のために訪問される予定であるため、会議室や資料の準備をしつつ、その他のメール又は電話でのお問い合わせに対応します。

10:30

認定申請に関する質問に対し、理解しやすく、かつ正確に回答することを心がけます。

12:00

昼休みです。執務室で持参した昼食をとり、午後からの業務に備えて休息をとります。

13:00

14:00より、試験事業者の認定に係る審議を行う委員会が開催されます。事前に資料内容の確認し審議内容を把握しておきます。



14:00

委員会では、各産業分野の専門家である委員の方々からの貴重なご意見を頂戴することができ、大変勉強になります。

16:30

認定審査員として、2~3ヶ月後に現地審査を予定している案件の、事前書類審査を行います。



18:30

切りの良いところで作業を中断しました。明日の準備をして帰宅します。

20:00

帰宅後、明日の仕事に備えて早めに就寝します。お疲れ様でした。

国際評価技術分野

こんな専門分野の職員が担当しています

電気・電子・情報、機械、建築、物理、化学、行政

先端技術の安全性評価とグローバルな取り組み

今後普及し発展する可能性をもつ、新しい技術を利用した製品・システムについて、NITEはその安全性や信頼性の確保に努め、さきがけて社会に貢献していきます。



蓄電池評価センター〔NLAB（エヌラブ）〕
多目的大型実験棟（大阪事業所）
大型蓄電池システムの安全性試験準備風景

(1) 大型の蓄電池システム

従来の蓄電池は、スマートフォンやパソコンに搭載される小型のものが主流でした。近年では、太陽光発電等の再生可能エネルギーで発電された電力の貯蔵、電力システムの周波数調整、電力の需給調整や停電時のバックアップを目的とした、スマートグリッド向けの大型の蓄電池システムが登場してきています。

NITEは、今後国内外で市場の拡大が期待されている大型の蓄電池システムについて、性能や安全性等の試験を行う世界最大級の試験・評価施設NLABの運用や、関連する新しい国際標準（IEC）の開発、国際機関への提案を進めています。民間や研究機関から依頼を受け、国際標準に基づいた試験・評価をNLABで行うことにより、大型の蓄電池システムの安全な運用を目指すとともに、大型蓄電池システム市場における日本の国際競争力の向上に貢献します。

(2) ファインバブル

日本がリードする革新的な技術に「ファインバブル」があります。ファインバブルとは、液体中に存在する直径100 μ m未満の非常に小さな気泡のことです。ファインバブルは、電子産業、洗浄分野など、応用範囲の広さから大変注目されており、NITEはファインバブル製品の試験・評価方法開発や国際標準（ISO）開発の一翼を担っています。

(3) 電力安全技術支援業務

平成28年4月から始まった電力事業の小売り自由化や、令和2年に予定されている発送電の分離といった電力システム改革により、今後は様々な事業者が電力供給市場に参入することが想定されます。

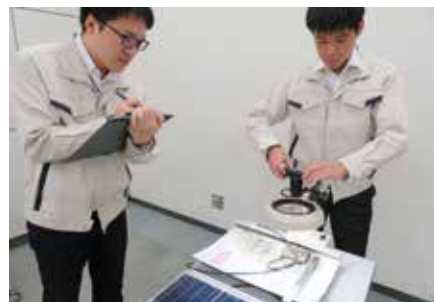
NITEは、電気工作物の保安水準を今後も維持できるよう、国や関係団体等と密接に協力して、保安体制や規制制度の検討・整備に貢献します。また、事故情報の収集や事故原因究明調査などを行い、保安水準の更なる向上を目指しています。



NLABメンバー集合写真（多目的大型実験棟前）



ファインバブルの測定準備風景



電気工作物の事故原因調査風景

安全な生活は、製品事故の未然防止と再発防止から

私たちの生活の場には多種多様な製品が流通し、身近なところで製品に関する事故が起っています。NITE製品安全センターでは、日常生活で起こる製品事故を防ぎ、国民が安全に暮らせるよう、消費生活用製品に係る事故情報を基に調査・分析し、付加価値を付けた情報の発信を行っています。

製品事故調査の様子(九州支所)

(1) 製品事故情報の収集、調査・分析、公表

消費生活用製品の事故情報を収集し、そのすべてについて中立な立場から科学的に原因究明調査を行っています。調査結果は、「事故情報データベース」としてNITEのホームページで広く公表し、製品事故の未然・再発防止に貢献しています。

(2) 国、事業者、消費者への情報提供

事故情報のリスク分析・評価や製品に共通する危険因子の解析、ヒヤリハット情報の分析を実施し、経済産業省に技術基準の改正や行政施策への提言、企業には安全設計のための提案を行っています。また、調査・分析の結果、誤使用や不注意が原因で多発していることが明らかになった事故については、安全な使用を啓発するための記者説明会の開催をはじめ、新聞やテレビなどのマスメディアを通じた注意喚起などによって事故防止に向けた取り組みを行っています。

(3) 海外の製品安全関係機関との連携

米国、欧州、中国などの海外の製品安全関係機関と積極的に連携し、情報共有やNITEが培った事故原因究明技術の研修を実施しています。また、海外製品のリスク情報やリコール情報を入力し、国内で同様の製品が流通していないかなどを調査して経済産業省などの関係当局に情報提供しています。

(4) 標準化を活用した製品事故の未然防止対策

JIS規格や業界基準などの標準は、製品安全に重要な役割を果たしています。子どものいたずらによるライター事故や介護ベッドの首挟み事故などを防止するためにNITEが開発した試験方法は、JIS規格に反映され事故の未然防止に役立っています。

NITEは、試験方法の開発や業界団体への技術支援を行い、標準化を通じた事故の未然防止に貢献しています。



化学分析による事故調査



X線透過装置による解析



事故情報の収集



事故同等製品の調査



海外の連携機関への事故原因究明技術の研修の様子



化学物質の公示名称付与作業の様子

化学物質による人の健康と環境への悪影響を最小限に

経済社会の発展と国民生活の安定を支えるため、化学物質管理に関する技術的な基盤を整備し、国、地方自治体、研究機関、事業者、消費者などすべての関係者に対し、化学物質に関する科学的知見や法令・国際ルールに基づいた技術・情報面からのサポートを行っています。

(1) 化学物質管理に関する3つの法施行の円滑推進

・化審法*1 関連業務

NITEは、新規化学物質の安全性に関する審査や化学物質のリスク評価、公示される化学物質への名称付与などにより、化審法の円滑な施行に貢献しています。また、消費者製品のリスク評価手法の開発・実施や化学物質の安全性をコンピュータで予測する解析手法の活用検討を行っています。

(※1) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

・化管法*2 関連業務

NITEは、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的とした化管法の円滑な運用に貢献しています。事業者から届出られた化学物質の環境への排出量等(PRTRデータ)の記録や集計・解析を行っています。また、PRTRデータを用いた地域ごとの届出排出量や大気中の化学物質の濃度を表示する「PRTRマップ」や、過年度データの比較報告書を作成し、公表しています。これらは、事業者や自治体等による自主管理のツールとして活用されています。

(※2) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

・化学兵器禁止法*3 関連業務

NITEは、化学兵器の原料となりうる化学物質の適正管理のために、化学兵器禁止法に基づき、化学兵器禁止機関(OPCW)による検査に立ち会っています。

(※3) 化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律

(2) 化学物質総合管理情報の整備・提供

NITEは、化学物質の法規制や有害性、リスク評価などに関する情報を、データベース「化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)」やパンフレットを含む様々なメディアを通じて広く発信し、事業者による化学物質の自主管理などを支援しています。

また、化学物質管理の国際的な協調を進めるため、経済産業省と連携して、経済協力開発機構(OECD)の環境保健安全プログラムなどへの参加やアジアや欧米諸国との二国間協力関係の構築などに積極的に取り組んでいます。



化学物質の安全性をコンピュータで予測する解析手法



化学分析の様子(化学兵器禁止法関連業務)



国際学会での講演の様子



地方創生に役立つ微生物資源のサンプリング風景（君津市カラー農園にて）

生物遺伝資源を産業に活かす

NITEは、遺伝資源の安定供給、遺伝子組換え技術の産業利用の安全性確保、生物遺伝資源のバイオ産業への利用促進を行い、バイオ産業発展のための基盤整備を行っています。



酵母菌（電子顕微鏡写真）

(1) 生物遺伝資源の利用促進

ヘルスケア、エネルギー及び環境等の分野でのバイオテクノロジーの活用について、企業や公的機関との共同事業を展開しています。最近では、微生物資源を活用し地酒、パン等のブランド商品を創出する地方創生活動を支援しています。また、災害に備え、企業等が保有する貴重な生物遺伝資源のバックアップ保存サービスを提供しています。

(2) 世界トップクラスの生物遺伝資源機関としての業務

NITEは微生物を中心に約9万株の生物遺伝資源を保存しており、収集数、提供数において世界トップクラスの生物遺伝資源機関です。微生物等の生物遺伝資源の収集を、外国を含む他の遺伝資源機関とも協力しつつ実施しています。収集した生物遺伝資源は、特別に設計された施設において、品質マネジメントシステム（ISO 9001）に則り管理・保存ユーザーに供給しています。さらに、遺伝子情報を収集し、その情報に基づき生物遺伝資源の産業有用機能についての検索をするためのデータベースや、生物遺伝資源に関する様々な情報やデータを集約したデータベースを構築し公開しています。

(3) 特許法及び国際条約に基づく特許微生物寄託機関

微生物を利用した発明で特許を取得する場合、当該微生物を特許寄託機関等に寄託し、第三者が入手出来る状態にする必要があります。NITEは、特許法施行規則第27条の2及び3に基づく我が国唯一の特許寄託機関として、また、特許手続上の微生物の寄託の国際的承認に関するブタペスト条約に基づく国際寄託当局として、特許微生物寄託事業を実施しています。



生物遺伝資源の分譲用サンプル



(4) 生物遺伝資源に関する安全性の確保

遺伝子組換え生物の使用については、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」（カルタヘナ法）により規制されています。NITEはカルタヘナ法に基づく経済産業省の安全性審査が円滑に進むよう、事業者の届出に対して事前審査や技術的支援を実施しています。また、カルタヘナ法施行にあたり必要となる組換え生物の安全性情報等を経済産業省へ提供し、さらに、事業者への立入検査も実施しています。

適合性認定分野

こんな専門分野の職員が担当しています

電気・電子・情報、機械、物理、建築、土木、化学

試験・校正事業者等を審査する認定機関として信頼性を担保

市場のグローバル化にともない、貿易や取引手続きの統一化・簡素化が世界貿易機関(WTO)などで推進される一方、企業等のコンプライアンスも厳しく求められる時代となってきました。

NITEは、ISO/IEC 17025などの国際基準に基づいた認定を通じて、試験・測定データの信頼性や製品の品質を支えています。



(1) 日本で唯一の公的認定機関

NITE認定センター(IAJapan(アイエイジャパン:International Accreditation Japan))は、試験・測定データの信頼性確保を目的とし、国際基準ISO/IEC 17025*1等に基づいて試験所・校正機関などを審査・認定する、日本で唯一の公的認定機関です。



(2) 法令に基づく認定業務

IAJapanでは、計量法に基づく計測器等の校正事業者認定制度(JCSS)やダイオキシン類など極微量物質の特定計量証明事業者認定制度(MLAP)、産業標準化法(JIS)法に基づく試験事業者認定制度(JNLA)など、各種法令に基づき、事業者の品質管理や技術能力を審査し、認定しています。

自動車性能値の信頼性確保にJCSSが貢献

自動車の性能試験のうち、燃費試験、ブレーキ性能試験、騒音測定等では自動車の速さ(車速)が重要な試験条件であり、必須の測定項目となっています。JCSS登録事業者が実施する「車速計」校正は、これら自動車性能値の信頼性確保に役立っています。



(3) 国際相互承認への取組

IAJapan自身もISO/IEC 17011*2という国際基準に基づくマネジメントシステムに従って運営しており、世界もしくはアジア・太平洋地域の認定機関間での相互承認のもと、4年ごとに国際評価チームの厳しい評価を受けています。これにより、IAJapanが認定した事業者が発行する校正証明書・試験報告書は、国際的な同等性が認められます。

また、IAJapan職員も他国の認定機関の国際評価チームに参加して、国際相互承認に貢献しています。



相互承認国際評価の様子

(4) 政策的・社会的要請に対する認定業務

IAJapanでは、中小企業性が高く政策的取組の必要な分野や先端技術分野で民間同士の技術審査が困難な分野など、法令に基づく認定業務でカバーできない認定ニーズに対応するため、NITE独自の認定プログラム(ASNITE)を運営し、企業の海外展開などを支援しています。

(※1) ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項
(※2) ISO/IEC 17011 (JIS Q 17011) 適合性評価機関の認定を行う機関に対する要求事項



鉄道分野の製品認証機関の認定



NITE理事長
辰巳 敬

国際的なネットワークを構築し連携を強化

製品・サービスは、国境を越えて流通しています。NITEは、国際的な視野に立ったグローバルな活動により、製品等の信頼性と安全性の確保に貢献しています。

これまで培った技術的知見や経験を活かし、国際機関、政府機関等海外の関係機関と密に連携し、情報収集又は提案活動により技術的課題の解決に貢献しています。

国際消費者製品健康安全機構 (ICPHSO) 会議

(1) 海外の関係機関との連携を強化

製品安全分野では、米国と日本で開催された国際消費者製品健康安全機構 (ICPHSO) 会議に出席し、NITEの取組の発表、連携機関と会談等を実施しています。また、米国や台湾、タイ、マレーシアの連携機関から技術者の訪問を受け入れて会議や研修を実施するなど、積極的に海外関係機関との連携を深める活動をしました。

(2) 国際的な信頼性の維持・向上

適合性認定分野関連では、試験所、校正機関、標準物質生産者及び製品認証機関の認定に関して、アジア太平洋認定協力機構 (APAC)、国際試験所認定協力機構 (ILAC) 及び国際認定フォーラム (IAF) の国際相互承認に署名するとともに、各機関において主要ポジションを確保し、国際規格等の改正に貢献しています。

国際相互承認により、認定センター (IAJapan) が認定した事業者が発行する証明書・認証書は国際的な同等性が認められ、日本製品の海外市場における信頼性の向上に貢献し、競争力強化につながるものと期待されます。



製品認証機関の認定に関する相互承認 (MLA)

(3) アジア諸国との連携強化／微生物利用の相互協力

海外の微生物資源の利用にあたっては、生物多様性条約により提供国の事前合意と公正かつ衡平な利益配分が求められます。バイオテクノロジー分野では、NITEがベトナム、モンゴル、タイ等のアジア諸国と生物多様性条約に基づいた微生物資源の利用に関する合意することにより、日本国内の企業や研究者が継続的に海外の微生物資源を利用できる環境を整備しています。

また、アジア諸国の微生物保存機関とコンソーシアムを組織し、情報交換することで、微生物資源を相互利用するための国際的な取組を行っています。

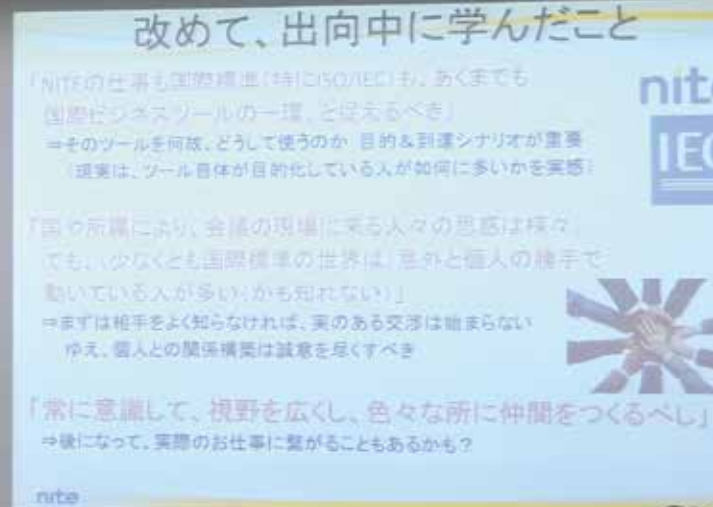


微生物保存機関のコンソーシアム会合

機動的な組織マネジメントと分野間連携

社会状況の変化に敏感に対応し、チャレンジ精神を持ち、内外の専門家と連携を取りながら、社会の要請に応えられる組織をめざしています。そんな全体の調整役が企画管理部門です。

NITEが保有している多様な分野の技術的知見、人材、設備を一体的に活用し、時には組織横断的なプロジェクトチームを編成して、分野間連携による課題の解決にも取り組んでいます。



『Working Session for Youth 2016』の様子
発表者の業務経験・体験を聴講し自分の将来像
(キャリア)を思い描く機会 【人材育成】

(1) 企画管理部門の取り組み

企画管理部門では、社会的要請に迅速に対応するため、また業務運営を効率的に実施するための職場内外の環境づくりに取り組んでいます。具体的には、業務・組織・予算・人事管理、広報、財務会計、情報システムに関する、総合的な企画立案・調整を行っています。

- 業務、組織、予算等の総合的な企画立案・調整、広報など 【経営企画課】
- 職員の福利厚生、研修の実施、給与業務、ワークライフバランスの推進など 【人事企画課】
- 文書管理、施設・設備の管轄、法務対応、警備・防災、情報公開など 【総務課】
- 契約管理、資産・物品管理、財務諸表・決算報告の作成など 【財務・会計課】
- 情報システムの総合的な企画立案・調整 【情報システム課】



チームを組み、将来NITEが進むべき方向を検討

(2) 中長期的な視点とフィージビリティスタディ (F/S)

NITEでは、『長期ビジョン2030』のもと、5年後を念頭に業務のあり方を各分野の若手職員や幹部職員が議論し、中期方針を作り上げました。また、将来の業務に向けてのフィージビリティスタディ (F/S) (可能性調査)を実施しています。

企画管理部門では、そうした活動の中心となって、分野と連携し、コミュニケーションをとりながら成果に導いています。

(3) 内部連携による取り組み

異種の技術分野同士でコラボレーションして、課題を解決することができるのがNITEの特徴です。製品安全分野、バイオテクノロジー分野と化学物質管理分野が事故原因を究明し、その解析データが技術基準の策定につながった、という事例もあります。

こうした分野間の調整・連携が容易にできるのも機動的な内部組織、技術の複層化を進めているNITEの強みです。



戦略的な広報・情報提供

こんな専門分野の職員が担当しています

行政、農学、農業・農村工学、林学、建築、土木



記者説明会の様子(本所)

身近で役立つ情報を国民各層に向けて広報

NITEでは、プレスリリースによるマスメディアへの情報提供を積極的に実施しています。また、地域住民や小中学生向けのイベントや実験教室などの活動も行っており、地域社会や消費者、事業者等に向けて、多様な方法で情報提供、普及啓発に取り組んでいます。

(1) プレスリリースによる製品事故情報の提供

NITEでは、製品安全分野を中心に、毎月、プレスリリースによる記者説明会を開催しています。積極的な情報提供を行うことで新聞、テレビ等に取り上げられる回数も増えてきており、製品事故防止のための消費者への注意喚起につなげています。

また、定期的にメールマガジンを配信するなど、有益な情報を幅広い読者に提供しています。

(2) 地域・小中学生とのふれあい

NITEでは、地域や学校等へも積極的に働きかけて情報発信しており、一般公開日に「NITEフレンドシップデイ」を開催しています。また、小中学生向けに教材を使った製品安全の普及啓発活動も行っています。



出前授業



フレンドシップデイ

(3) 各種データベース、SNS等による情報発信

NITEが保有する技術データなどは、わかりやすく容易に検索できる形でデータベースにし、事業者や消費者などに向けて公開しています。また、最新情報を提供するため、メールマガジンを配信しています。

さらに、ソーシャルメディアの活用も進めており、YouTubeの公式チャンネルやTwitterの公式アカウントを開設しています。

製品安全センター 技術業務課
(平成26年入構 電気・電子・情報)

田崎 茂

Tasaki Shigeru

平成26年 製品安全センター製品安全技術課
平成29年 現職



NITEを目指したきっかけ

私は、技術で社会貢献ができるような仕事に就きたいと考えていたところ、NITEの説明会に参加し、「技術で行政を支える組織」としてのNITEを知りました。

実際に入構してみると、配属された製品安全分野は、長年の事故原因究明で培った技術や知見を活用して行政を支え、そして、事故防止のためのプレス発表などを通して、国民の安全・安心な暮らしを支えている組織であることを実感しました。

また、NITEは、国民や社会のニーズに柔軟に対応すべく、新しい技術を積極的に取り入れ、日々進化を続けている組織であると感じています。

私も日々の業務の中で、先輩方の指導を通して技術の取得に努めているところですが、技術面だけでなく、広い視野と知見を養い、社会に貢献できるように努めたいと思っています。



現在担当している仕事

私が所属している技術業務課では、自転車や扇風機、そして冷蔵庫といった身近にある製品で発生した事故について、原因究明の調査を行っています。幅広い製品が調査対象となり、事故調査の際は、様々な試験機器を使用して調査を行います。

また、事故製品の観察結果や収集した周辺情報から、客観的に事故原因を推定するよう心がけ、事故原因究明の目的である「製品事故の再発・未然防止」を忘れないように取り組んでいるところです。熱中するあまり視野が狭くなり、反省することも多々ありますが、自身で事故原因究明の調査をした案件が公表され、国民の安全・安心な暮らしを支えていると実感できると、非常にやりがいを感じます。



Message: **グローバルに活躍してみたい、
様々な経験を積んでみたいと思う方、一緒に働いてみませんか。**

近年、インターネットなどの普及に伴い、多くの海外製品が身の周りに流通しています。そのため、製品安全は、日本国内だけでなく、世界に目を向けて取り組むことが必要となっています。製品安全分野では、海外の製品安全関係機関と積極的に連携し、情報交換や技術交流を実施しています。グローバルに活躍してみたい、様々な経験を積んでみたいと思う方は、ぜひNITEと一緒に働いてみませんか。



国際評価技術本部 蓄電池評価センター

(平成26年入構 建築)

大島 風子

Ohshima Fuko

平成26年 製品安全センター

先端技術評価センター

大型実験棟建設準備室 配属

平成27年 国際評価技術本部計画課

国際評価技術本部計画課建設管理室

国際評価技術本部蓄電池評価センター

平成28年 現職



NITEを目指したきっかけ

官庁合同業務説明会で、多様な試験機が並ぶ試験室を見学させていただき、単純に面白そうと思ったのがNITEに興味を持ったきっかけでした。入ってからは、業務範囲が広く、チャレンジできる場が多いのではないかとと思っています。

入構当初は大学での専攻がが建築のため、大阪事業所の新設を担当させていただきました。蓄電池評価センターの試験施設は特に大規模かつ特殊な施設であったため、大変貴重な経験をさせていただいたと思っています。入ったばかりでこのような業務を担当させていただけることに驚きました。施設の竣工後はできた施設を使いつつ、依頼された試験に取り組んでおります。採用区分に関わらず、新しい業務や知識に触れる機会が多いため、視野が広がったと思います。



現在担当している仕事

大型の蓄電池の試験を行う蓄電池評価センターにて、お客様から依頼される試験の実施、施設のメンテナンスを行っております。試験毎に、要望に添った対応ができるように検討しています。

様々な専門知識のある方と集い、どのように試験を進めるか検討し、実施まで行えるのは大変面白いと思います。

PR用の映像撮影のため、爆発または燃焼している状態を再現し、映像撮影したことがありました。他部署と連携し、より迫力のある映像とデータを撮れるよう改良を進め、撮影を行いました。その映像は実際に施設の広報で利用いただき、好評であることを伺い、非常に達成感とやりがいを感じました。

日々の試験でも同じように検討、準備、実施を繰り返しており、難しくもやりがいを感じる職場です。



Message: プライベートでは、新しい趣味の世界をどんどん広げています。

カレンダー通りに休みが取れ、年次休暇も取得しやすいため、旅行等に行きやすいです。私は、新しいことをやってみたくて、ラフティング、キャニオニング、パラグライダー、フライングボードをやってみました。次はスカイダイビングかケイビングを目論んでいます。このように、NITEはプライベートと仕事の両立ができる職場だと思っています。また、フレックスタイム制や育児休業制度が使われている方が多くいらっしゃるの、長く余裕を持って仕事を続けられる環境だと実感しております。

ぜひ、NITEでプライベートも仕事も楽しんでみませんか。



化学物質管理センター
安全技術課 化学兵器原料対策室
(平成24年入構 化学)

小黑 かく

Oguro Kaku

平成24年 製品安全センター
製品安全調査課 配属
平成25年 製品安全センター 計画課
先端技術評価センター準備室
平成26年 製品安全センター 計画課
先端技術評価センター大型実験棟
建設準備室
平成27年 国際評価技術本部 蓄電池評価センター
平成28年 現職



NITEを目指したきっかけ

NITEには公務員では珍しい試験業務があり、元々デスクワークだけでなく色々な仕事してみたいと思っていたので、魅力を感じ目指しました。

実際に仕事を始めると、試験以外に国際業務が多いことに驚きました。私が所属する化学物質管理センターは多くの国と協力していて頻繁に海外出張がありますし、また、職員を長期間海外機関へ派遣する制度もあります。私自身これまで数度海外出張する機会にも恵まれ、最近では単身で出張することも。入構時には、まさか一人で海外に行き仕事をすると想像出来ませんでした。

NITEは常に新しい分野に取り組んでいて、これからも想像を超える仕事待ち構えていると思いますが、前向きに挑戦していきたいです。



現在担当している仕事

皆さんが普段使っているボールペン。実はこのインクの中には、化学兵器の原料となり得る物質が含まれていることもあります。つまり、産業界で有用な化学物質も一方では化学兵器に転用可能といったリスクがあるというわけです。化学兵器禁止条約に基づき、日本でこのような物質を扱っている事業所は化学兵器と無関係であることを証明するため、国際機関による検査を受け入れなければいけません。

私たちは経済産業省と共に化学物質を扱う事業所への検査に立会い、検査が円滑に進むよう技術的な支援を行っています。条約や法律、化学物質の知識や分析技術など勉強することは多いですが、私たちの仕事は条約締約国として日本という国の信頼に関わるものでもあり、やりがいは大きいです。



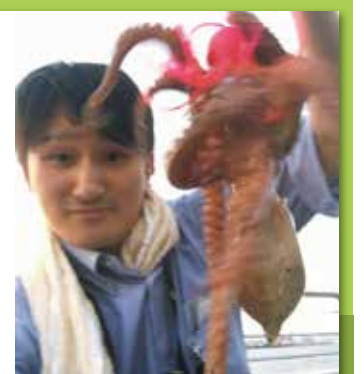
Message: 仕事終わりに釣りでリフレッシュしています。

大阪事業所には徒歩3分のところに有名な釣りスポットがあります。夏はタコ、冬はタチウオ、他にもシーバス、メバルなど魚種は豊富です（自分の釣果は芳しくありませんが）。

とある日には仕事終わりにふらっと立ち寄り、竿を出しているだけでリフレッシュしますし、ついに大物が釣れたときの感触は忘れられません。目下の目標は60cmオーバーのシーバスとドラゴン級のタチウオを釣り上げることです。

NITEの職場環境としては比較的休暇が取りやすいですし、各自が希望するキャリアパスについても出来るだけ配慮してくれる印象です（念願かなって現所属部署へ）。

最近若い職員が増え、活気もあって働きやすい職場だと思います。オススメです。



バイオテクノロジーセンター
産業連携推進課

(平成14年入構 化学)

赤坂 真理子

Akasaka Mariko

平成14年 企画管理部 企画管理課 配属
平成16年 バイオテクノロジー本部
生物遺伝資源開発部門 資源開発課
平成20年 経済産業省 出向
平成22年 企画管理部 総務課 情報システム室
平成27年 企画管理部 経営企画課 広報室
平成28年 企画管理部 経営企画課
平成29年 現職



NITEを目指したきっかけ

私は官庁合同説明会で初めてNITEの存在を知り、微生物のゲノム解析や事故調査などの技術的な業務に携われることに魅力を感じてNITEを志望しました。

実際にNITEで働いてみると、技術的な業務を成果につなげるためには、企画・立案や関係者との交渉、調整、後方支援など、マネジメントやサポートの業務も重要であり、そうした業務に携わっている職員も多いことを知りました。NITEは技術的な業務のイメージが強いかと思いますが、組織や業務のマネジメントに興味のある方や、財務会計やシステムなどの専門スキルを活かしたい方が活躍できる業務もあります。

また、国家公務員は上下関係が厳しく堅苦しいというイメージを持っていましたが、NITEは上司や先輩との距離も近く、穏やかな雰囲気なので、意見などもしやすい環境なのではないかと思っています。

現在担当している仕事

私は現在、微生物の機能を活かしたものづくりを推進するための連携事業をマネジメントしています。具体的には、マイクロバイオームや物質生産、微生物迅速同定などに関する外部との連携事業において、計画立案や実績のとりまとめ、予算・業務の管理、外部機関やNITE内の調整、広報、契約や特許等の手続きなど、事業を効率的に進めて成果につなげるために必要なことや、新たな事業を開始するための支援などを行っています。

外部機関の方のご意見を直接お伺いできる機会も多いので、NITEの取組や成果について、評価や感謝されたときにやりがいを感じます。

これまでの人事異動は必ずしも希望通りではありませんでしたが、組織の運営、技術的な実務、現場のマネジメント、広報、システム管理と、様々な立場の業務に携わることができたことで、視野や人脈も広がり、それらの業務の中で身についたスキルが今の仕事にも活かしているのだと感じています。



Message: 自分のライフスタイルに合わせて仕事ができる組織だと思います。

私はバイオテクノロジーセンター（木更津市）の職場の近く、千葉県の木更津に住んでいます。木更津には海も山もあり、自然に囲まれていて心が和みます。また、アクアラインを通れば都内へのアクセスも良いので、仕事終わりに都内でお食事をしたり、休日に美術館や博物館を巡ったりしています。

NITEは残業も少なく、フレックスタイムや短時間勤務、育児休業などの制度も充実していて、またそうした制度が利用しやすい雰囲気なので、自分のライフスタイルに合わせて仕事ができる組織だと思います。皆さんもNITEで働いてみませんか？



企画管理部 情報システム課

(平成25年入構 電気・電子・情報)

田嶋 友香子

Tajima Yukako

平成25年 バイオテクノロジーセンター

計画課情報システム開発室 配属

平成28年 現職



NITEを目指したきっかけ

大学の講師からNITEの名前を聞き、官庁合同業務説明会でNITEの説明会に参加してみたことがきっかけです。就職活動を進める中で様々な業界や職種を知り、考えてもいなかった業界に興味があり楽しい反面、志望先を絞れずにいました。周りの友人が進路を決めていく中で、自分が何を目標しているのか、何が向いているのかよくわからないまま就職活動をしていた、そんな時にNITEの説明会での「NITEでは様々な分野の仕事があり、経験を積みながら自分のやりたいことが見つかります。」という言葉に期待し、NITEへの入構を志望しました。

入構後の配属先は大学の専攻とは異なる部署への配属で専門知識ゼロからのスタートでしたが、丁寧に指導して下さる上司や先輩方がいて、とても心強かったです。

現在担当している仕事

情報システム課ではNITEの情報システムが安定稼働するようサーバ、ネットワーク、クライアントPC等の運用管理を行っています。情報システム課といっても、一日中パソコンと向き合っているわけではなく、「ネットワークに繋がらない」「こんなシステムを導入したい」といったNITE職員からの情報システムに関する問い合わせ対応もしており、他部署の職員とのやりとりが多い部署です。

時には複雑なトラブルが発生することもあります。自分の知識や経験を活かして無事トラブルを解決できたときが最もやりがいを感じる瞬間です。今後は情報システムだけでなく他部署の業務に関する幅広い知識を身につけ、様々な問い合わせに臨機応変に対応できるようになりたいと思います。



Message: 新しい分野へのチャレンジは、自分の可能性を広げるチャンスです。

休日は友人と食事や買い物、映画などに出かけて楽しんでいます。また、年次休暇を取得し実家に帰省したり旅行に行くこともあります。業務の調整ができれば年次休暇を取得しやすい環境が整っており、お出かけすると気分もリフレッシュできるので「また明日から仕事頑張ろう」という意欲が湧いてきます。

入構した当初は初めてのことばかりで不安を感じることもありましたが、新しい分野の知識を習得することができ、NITEに入構してよかったなと思っています。専攻以外の分野でも実際に経験するなかで、その仕事が好きになることがあるのもNITEの魅力だと思います。



身の回りの製品の品質保証や事業者の海外進出の支援まで幅広い業務があり、非常にやりがいのある仕事です。

認定センター

製品認定課 製品認証認定室

(平成22年入構 物理)

橋本 秀和

Hashimoto Hidekazu

平成22年 認定センター 計画課 配属

平成23年 認定センター 製品認定課

平成25年 経済産業省

平成28年 認定センター 製品認定課

平成29年 現職



NITEを目指したきっかけ

NITEを知ったのは官庁業務合同説明会でした。色々な技術分野の業務をされている職場だなと興味がわき、説明対応してくださった職員の皆様もフレンドリーでこの職場で働いてみたいと思うようになりました。

入構前は製品事故実験の映像の印象が強く、色々な実験を行っている場所なのかなと思っていましたが、実際にNITEで働き始めて、国内外の法規制等に基づいて我々が身近に使用する製品の安全を保障するための取組から、国や業界関係者等と共に企業の海外進出等のビジネス支援するための新制度の構築の検討の取組等、非常に幅広い業務を行っていることに驚きました。

NITEはこのように手を動かす実験から、制度構築に関わる業務まで非常に幅広い経験ができる、とても魅力的な職場だと感じています。



現在担当している仕事

世の中の製品が安全に使用できるのはなぜでしょうか。それは製品を試験するなどして法令や規格等で求められる基準を満たしているかどうか評価されているからです。製品の調達者の要求、あるいは製品の種類によっては法規制によって、国際水準を満たした第三者によってこの評価を実施することを求められることがあります。

製品認定課では、このような製品評価等を実施する第三者機関（試験所や認証機関）が国際水準を満たしているかどうか等を確認する、認定という業務を行っております。

カシマ製品や電気用品等の我々の身の回りの製品の品質を保証するための認定等の業務から、鉄道やパワーコンディショナ等の製造事業者の海外進出を支援する認定業務まで幅広い業務があり、非常にやりがいのある仕事です。



Message: NITEは男性も非常に子育てしやすい環境だと思います。

休日は子育ての日々で色々なところを巡っています。まだ生まれたばかりなので、まずは身近なところから、徐々に距離を伸ばしているところで、世界が広がっていく感覚を改めて体験しているところです。

NITEは自分の業務状況に合わせて、休暇を調整しやすい職場なので、いずれば家族で遠出の旅行もできればと考えております。また、子供が生まれる前後は、年次休暇を利用させていただき、他にも業務量の調整、出張予定の変更等、職場から多大なるサポートをいただき、本当に感謝です。

このように、NITEは男性であっても非常に子育てしやすい環境だと思います。



Q & A

Q 独立行政法人とは、どのような機関ですか？

- A** 独立行政法人とは、国の一組織として府省に属していた、主に行政の実施部門や研究部門を独立させた機関です。また独立行政法人のうち、国の行政事務と密接に関連した事業を正確かつ確実に執行することが求められる機関を行政執行法人といいます。
- NITEは、経済産業省所管の行政執行法人であり、職員の身分は国家公務員となっています。

Q キャリアパスは怎么样了か？

- A** NITEは、職員一人一人の専門性（バックグラウンド）を踏まえた上で、各部門での業務経験を経て技術を獲得し、内外の要請に応えられる専門家（プロフェッショナル）を目指してもらいます。そこで1つの業務における人材育成期間を5年程度とし、中長期的な人材育成を行っています。

出向

・経済産業省等の他機関への出向

関係行政機関と密接な連携のもと、広い視野を有する人材の育成の観点から他機関との人事交流を推進しています。

・海外を含む大学院、政府機関等への派遣

高度な専門性や国際性を身につけるため、大学院博士課程やEPA（米国環境保護庁）などへ職員を派遣しています。

研修

・新規採用職員研修

社会人としての基本から、NITE各分野の業務、経済産業省の政策などを学ぶための広範囲なカリキュラムを用意しています。

・その他の研修

経営マネジメント研修や女性のキャリア形成セミナーなどのマネジメントスキル向上やキャリアアップの研修に力を入れています。

このほか、階層別職員研修や業務に応じた各種の専門研修を実施しています。



女性のキャリア形成セミナーの様子



キャリアパスイメージ

- 入構10年目くらいまで
 - ・原則、複数の専門分野（技術部門又は管理部門）での経験
 - ・経済産業省等への出向経験
- 入構10年目以降
 - ・複数の専門分野を持つ者は専門分野を行き来（3～5年）してスキルアップ
 - ・2つ目の専門分野への挑戦
- 40～45歳以降
 - ・専門分野又はそれ以外の分野でのマネジメントへの挑戦、経験蓄積
- 50歳以降
 - ・専門分野又はそれ以外の分野でのマネジメント実践

Q 勤務時間や休暇は怎么样了か？

- A** 勤務時間は1日7時間45分です。フレックスタイム制も選択できます。土・日曜日及び祝日、年末・年始、創立記念日（5月1日）は休日となります。休暇は、年次休暇として20日／年（4月1日採用の場合、初年は15日）、特別休暇として、夏季休暇3日、結婚休暇5日、出産、育児、ボランティア休暇、病気休暇等があります。

○1か月当たりの時間外勤務（残業）：11時間／人 ○1年間の年次休暇の取得状況：15.4日／人

Q & A

Q 初任給はいくらですか？

A 東京に勤務する場合、大卒で月額216,800円、院卒（修士課程）で232,800円（2019年度）です。この他に家族、住居、通勤状況等に応じて、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。また、期末・業績手当（いわゆるボーナス）が年2回支給されます。

Q 福利厚生にはどのような制度がありますか？

A NITEは国家公務員共済組合に加入しており、傷病に際しての療養費の給付、出産に際しての出産費給付等様々な給付制度をはじめ、退職年金制度、貸付制度など職員とその家族の生活のための制度が用意されています。さらに、有志で活動している野球部やバドミントン同好会などのサークル活動もあります。

Q 育児や介護と仕事を両立できますか？

A NITEでは、働きやすい環境をつくるために、育児休業制度、育児短時間勤務制度、介護休暇制度を用意しています。特に女性職員の育児休業取得率と職務復帰率は100%です。最近では、積極的な育児参加のために育児休業（パパ育休）を取得する男性職員も増えています。

NITEには、仕事と育児・介護の両立を支援する様々な制度があります。現在、くろみん認定取得予定です。

育児

産前産後休暇：出産予定日の6週間前から、産後8週を経過するまでの休暇制度。

育児休業：子を養育するために、一定期間休業することを認める制度。（最長で子が3歳に達するまで）

育児短時間勤務：子が小学校に就学するまで、短い勤務時間で勤務することができる制度。

育児時間：子が小学校3学年の終期に達するまで、1日の勤務時間の一部を勤務しないことを認める制度。（1日2時間まで）

男性職員の場合は、下記の特別休暇制度もあります

配偶者出産休暇：妻の出産時の入退院の付添いや世話のために休むことができる制度。

育児参加のための休暇：妻の産前・産後期間中に、出産に係る子や未就学の子を養育するために休むことができる制度。

介護

子の看護休暇：養育する未就学の子の看護のために休むことができる制度。

介護休暇：日常生活に支障がある者（要介護者）の介護をするため、勤務しないことを認める制度。（最長6ヶ月まで）

介護時間：日常生活に支障がある者（要介護者）の介護をするため、1日の勤務時間の一部を勤務しないことを認める制度。（1日2時間まで）

Q 試験区別の採用実績はどのようになっていますか？

A 過去4年間の採用状況は以下のとおりです。試験区分ごとの人数は実績であり、上限ではありません。試験区分にとらわれず採用を行っています。

年度別採用状況（一般職試験・大卒程度／高卒者）

年度	区分	化学	農学	電気情報	機械	物理	行政	その他（建築・林学）	事務（高卒者）	計
平成26年度		5 (3)	1 (0)	5 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (3)
平成27年度		4 (2)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	15 (3)
平成28年度		5 (2)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	11 (3)
平成29年度		2 (2)	2 (0)	6 (1)	1 (0)	3 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	17 (5)
平成30年度		4 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (2)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	18 (4)

・() は女性の人数 (内数)

・国家公務員一般職試験・大卒程度／高卒者任用候補者名簿からの採用者数

■所在地の周辺地図



本所（東京渋谷区）



大阪事業所（大阪咲洲）



東北支所（仙台市）



中部支所（名古屋市）



九州支所（福岡市）

■採用についてのお問い合わせ先

- **本所**
 (独)製品評価技術基盤機構 企画管理部人事企画課
 〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10
 TEL:03-3481-0952
 E-mail:saiyou@nite.go.jp
- **大阪事業所**
 (独)製品評価技術基盤機構 製品安全センター業務管理課
 〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-22-16
 TEL:06-6612-2065
- **東北支所**
 (独)製品評価技術基盤機構 東北支所
 〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台4-5-18
 TEL:022-256-6423
- **中部支所**
 (独)製品評価技術基盤機構 中部支所業務課
 〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1
 名古屋合同庁舎第2号館
 TEL:052-951-1931
- **九州支所**
 (独)製品評価技術基盤機構 九州支所業務課
 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原2-1-28
 TEL:092-551-1315